

平成24年度 事業報告

荒尾市社会福祉協議会

【概況】

昨今の社会経済情勢は、政権交代による景気対策の結果、徐々に回復の兆しが見え始めておりますが、私たちを取り巻く状況は、急速な少子高齢化が進み、人口構造に大きな変化が起こっています。また、地域では近所付き合いが希薄になるなど、孤立する人が増え、孤立死や買い物難民などの地域における問題が多くなってきました。

このような中、本会では、地域福祉を推進するため、サロン活動の普及及び買い物支援等、地域のニーズに対し、住民とともに地域のささえあいづくりに取り組みました。

訪問介護等事業及び自立支援事業については、職員のスキルアップを図るとともに、利用者の安全確保に努め、サービスの質の向上、利用者支援に努めました。一方、利用者の高齢化による施設入所や入院等により利用者が減少し、厳しい経営状況となりました。

収益事業の売店経営については、顧客の減少による減収となりましたが、営業時間の拡大や特売日等の実施、更に仕入等の費用を抑えたため、利益を収めることができました。

以下、各事業の実施状況について報告いたします。

法人運営部門

【理事会、評議員会】

(1) 理事会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成24年 5月29日(火)	平成23年度事業報告並びに一般会計決算について 平成23年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 平成24年度一般会計補正予算1号について 評議員の選任について
第2回	平成24年 10月10日(水)	平成24年度一般会計補正予算2号について
第3回	平成25年 1月18日(金)	評議員の選任について
第4回	平成25年 3月22日(金)	平成24年度一般会計補正予算3号について 平成25年度事業計画並びに一般会計予算について 平成25年度収益事業市民病院内売店特別会計予算について

(2) 評議員会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成24年 5月2日(水)	理事の選任について
第2回	平成24年 5月29日(火)	平成23年度事業報告並びに一般会計決算について 平成23年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 平成24年度一般会計補正予算1号について
第3回	平成24年 10月10日(水)	平成24年度一般会計補正予算2号について
第4回	平成25年 3月22日(金)	平成24年度一般会計補正予算3号について 平成25年度事業計画並びに一般会計予算について 平成25年度収益事業市民病院内売店特別会計予算について

(3) 監査

開催日	内容
平成24年5月17(木)・18日(金)	平成23年度会計監査

【会費、寄付金】

(4) 会費制度

いきいきサロンの事業推進、ボランティア団体に対する活動支援や貸出用什器備品の設備費用に活用しています。

会員加入状況

		一般	賛助	特別	合計
23年度	件数	34	476	34	544
	金額	17,000	476,000	340,000	833,000
24年度	件数	47	444	37	528
	金額	23,500	444,000	370,000	837,500

(5) 香典返し及び一般寄付

法人運営、いきいきサロンの事業推進、ボランティア団体に対する活動支援等に活用しています。

寄付申込み状況

		香典返し寄付	一般寄付	合計
24年度	件数	404	11	415
	金額	5,154,000	698,380	5,852,380

地域福祉部門

【地域福祉サービス】

(1) ささえあい活動

1、ふれあい福祉のまちづくり事業

今年度も9地区がまちづくり事業に取り組まれました。それぞれが地域の特色に応じた様々な事業に取り組まれました。健康体操や食生活改善推進員と連携した活動を行われる区も多くみられるようになりました。

地区別参加状況

	22年度	23年度	24年度
原	1,982	2,531	1,879
川登	289	259	262
月田	1,280	1,238	1,314
大東	148	197	99
万田中	108	136	123
高浜	900	1,079	1,050
新生	733	2,131	3,545
大平町	373	378	422
万田東	—	938	669
計	5,813	8,887	9,363



△原区まちづくりの様子

2、高齢者いきいきサロン事業

新たに4団体より申請があり、合計27地区が実施しています。昨年同様、増加傾向にあり、この事業に対する地域のニーズは高いと考えられます。また、助成金の他の支援策として、社協から情報提供に努め、サロンマニュアルの提供や情報誌の発行や講師の紹介などを積極的に進めました。さらにサロン運営支援の一環としてレクリエーション道具の貸し出しや手作り遊具の作成方法の提供も行い、地域で取り組まれる際の支援に努めました。

開設状況

	22年度	23年度	24年度
指定地区数	19	23	27
開設延日数	226	350	439
人 員	5,870	7,725	9,834



△助丸区サロン子供と合同でクリスマスケーキづくり



△緑ヶ丘サロン歩け歩け大会とお花見

地区別開設状況

	開催日数	人員		開催日数	人員
古庄原	13	358	本村	11	229
桜山	12	392	東屋形一	134	1409
月田	12	224	牛水下	13	343
大東	11	105	倉懸	11	274
川北	12	446	牛水上	12	504
東宮内	12	466	緑ヶ丘	12	373
北増永	13	263	岱洋東	12	398
深瀬倉掛	12	246	貝塚	15	299
深瀬ヶ丘	12	245	新町	11	289
助丸	12	598	宮内出目	12	400
上井手上	12	291	猫宮	11	330
川登	12	259	府本	9	407
元村	12	88	万田東	9	277
四ツ山	10	321			

3、地域ささえあい体制づくり事業

24年10月より3月までの6か月間、荒尾市より受託し、買い物支援やサロン、見守り活動などの住民どうしてささえあう活動を25年度より取り組むことができるよう、専任の職員を配置し、活動についての説明、アドバイス、組織化の支援などを行いました。結果、いくつかの地域でささえあい活動がスタートすることとなり、25年度はこれらの地域をモデル地域として荒尾市内各地にこの活動を広めていきます。

公民館にて説明 9回

- ◆買い物支援 助丸、猫宮（25年度より開始）
深瀬ヶ丘（25年度より検討）
- ◆見守りの導入 助丸、東宮内、岱洋東、
野中、猫宮（25年度より）
- ◆サロンの開始 上小路、境崎、中央



△東宮内区のささえあい活動説明の様子

（2）福祉委員の見守り活動

福祉委員の見守り活動は今年度も以下に示すようなさまざまな活動に取り組みました。各区の福祉委員からも悪徳商法などの情報も多く寄せられました。また、情報共有にも力を入れており、各区から寄せられた情報をまとめて情報提供のための資料として配布しました。

- ◆10月 情報提供強化月間
- ◆3月 情報収集強化月間
- ◆情報提供 ・情報提供かわらばんの配布 2回
・その他の情報 随時配布
- ◆一斉友愛訪問日（10月26日、3月20日）

- ◆校区情報交換会 全12回開催
 (悪徳商法などの情報を福祉委員どうしで共有するために開催)

- ◆総会 ・開催日 6月27日
 ・内容 23年度事業報告、決算
 24年度事業計画、予算
 活動についての説明、注意事項
 ・参加者 65名
- ◆研修会 ・開催日 3月14日
 ・内容 講演「高齢者の栄養と健康について」
 ・参加者 67名

福祉委員活動延件数

	23年度	24年度
相談件数	198	317
友愛訪問	10,317	9,242
情報提供	3,488	4,218
電話、その他	1,493	1,779
合計	15,496	15,556



△民生委員との訪問活動

(3) 地域活動備品貸出事業

地域活動を実践する団体に対し、備品等の貸し出しを行いました。区長が社協に来ていただく機会を作ることで、社協と地域をつなぐための施策としても機能している。また、24年度に関してはサロンなどからレクリエーション道具が多く借りられました。

備品貸出件数

	22年度	23年度	24年度
鍋	46	51	75
炊飯器	5	5	11
災害時炊き出し釜	15	9	15
調理器具	6	60	56
高齢者疑似体験セット	34	52	71
車いす	49	21	45
ギャッジベッド	1	—	—
パイプ椅子	230	330	190
プロジェクターセット	7	7	5
マイク設備	4	2	1
グランドゴルフセット	110	188	315
遊具	9	3	36
テント	—	3	3

(4) 地域福祉活動に対する地域からの相談

地域福祉活動について、地域に出向いての相談や説明などを実施。24年度も多くの区に関心を持ってもらい、それらの説明をきっかけにして、実際にいくつかの区で活動が始まりました。

◆ささえあい活動に関するもの 10回

◆サロン活動に関するもの 15回



△桜山地区民生委員に向けた
サロン活動の説明

(5) 歳末たすけあい事業

1、地域活動特別助成事業

地域住民にあたたかいお正月を迎えてもらうため、歳末に特別な事業を計画する地区に対し、歳末たすけあい事業から、1地区2万円を上限とした材料費の助成を行いました。今年度も次のように多くの区より申し込みがありました。

◆21ヶ所



△牛水西区（おせち料理配布）



△宮内出目東区（もちつき）

2、年賀状送付事業助成

歳末に区などより高齢者に向けて心のこもった手作りの年賀状を出されている区に対し、年賀状の現物を助成しました。

◆9か所 200枚 （写真参照）



△猫宮区の皆さんによる年賀状
作成の様子



△野中区の取り組み。子供た
ちがひとり暮らし高齢者に
向けた年賀状を書きます

【ボランティアセンター事業】

（６）火の国ボランティアフェスティバル荒玉の開催

ボランティア活動の啓発とボランティアどうしの交流を目的としたボランティアフェスティバルを荒尾玉名地域の社協、ボラ連で主催。九州看護福祉大学を会場に開催しました。熊本県内のボランティアが一堂に会する機会として、毎年開催されています。

- ◆開催日 11月18日、19日
- ◆会場 玉名市 九州看護福祉大学
- ◆内容 式典、キャッチフレーズ表彰、記念講演、分科会、交流会、アトラクション、にわか劇など
- ◆来場者数 1300人以上

【記念講演】「やる気を出せば必ず奇跡が起こる」
鹿児島県鹿屋市柳谷自治区館長 豊重哲郎氏



△豊重さんによる記念講演

- ◆事前会議 平成24年度 会議開催数32回

（７）ボランティア養成講座

ボランティアの底辺拡大のため、手話、点字、朗読の3講座を開講しました。

養成講座開設状況

	23年度			24年度		
	日数	人員	修了	日数	人員	修了
手話（初級）	41	420	7	38	353	7
手話（上中級）	40	480	—	37	450	—
点字	27	153	6	27	90	3
朗読	13	30	3	13	48	3



△朗読講座の開講式



△点字講座の様子

(8) ワークキャンプ

生徒に対し福祉教育を行う事業。将来の地域福祉活動を担うことのできる人材を子供のうちから育成する。24年度は2校より申し出があり、昨年より多くの学生が福祉を体験することができました。今後の目標としては地域福祉の事業を体験するプログラムも企画していきます。

◆実施学校 荒尾海陽中 15名
荒尾高校 14名

◆実施場所 わだち製作所、わがんせ、
学童保育あおば、ふれあい福祉センター

・ 8月 2日	4名	わがんせ
・ 8月 3日	3名	学童保育
・ 8月 8日	4名	わがんせ
・ 8月10日	5名	わだち製作所、学童保育
・ 8月17日	4名	ふれあいセンター、わだち製作所
・ 8月22日	4名	わがんせ
・ 8月24日	5名	ふれあいセンター、学童保育



△ディサービス「わだち製作所」
での体験交流



△学童保育での保育体験

(9) 福祉教育の支援

総合学習支援の一環で、本会から職員を派遣し、車いす体験の指導を行いました。それらの他にも高齢者疑似体験セットや車いすなどの用具の貸し出しも行いました。

◆体験学習の指導

・ 中央小学校	6月21日	40名
	7月 3日	40名
	7月 6日	40名

◆体験学習用具の貸出

・ 有明小学校	車いす	3、疑似体験セット	5
・ 第一小学校	車いす	8、疑似体験セット	25
・ 桜山小学校	車いす	4、疑似体験セット	4
・ 万田小学校		疑似体験セット	11
・ 海陽中学校	車いす	6	



△中央小車いす体験
学習指導の様子

(10) 情報誌の発行

市民に対し、ボランティアニーズの掘り起こしとマッチングの機能を持たせた、「ボランティア情報」を年4回発行。ボランティアグループへの新規登録や個人ボランティアなどへの問い合わせなどの件数が増加。一定の効果があったと考えられる。情報誌の記事によるボランティア連絡協議会への加入数も増加しました。

(11) ボランティアニーズのコーディネート

ボランティアニーズのコーディネートを行っています。ボランティア情報でボランティアしたい人、ボランティアをお願いしたい人の募集を行い、それらの方々をコーディネートしました。

◆コーディネート件数 51件



△ボランティアの紹介
(おもやい市民花壇)

(12) ボランティア連絡協議会の運営

社協に登録するボランティアグループどうしの横の連携を図るための組織。月に1回リーダー会を開催し、情報共有を図っています。24年度はボランティア情報に新規加入団体の募集を行ったところ、3つのグループよりボラ連への加入がありました。

◆新規登録グループ 「花愛グループ」
「花遊び会」
「フラ愛好会」

南荒尾駅、有明公園などの清掃、
花壇を整備する活動
荒尾駅の待合室に生花を飾る活動
フラダンスをとおして施設等への慰
問をする活動



△有明公園花壇の整備
(花愛グループ)



△荒尾駅に生花を飾る活動
(花遊び会)

◆ボランティア連絡協議会総会 5月15日

場 所 中央公民館
内 容 23年度事業報告
24年度事業計画
事例発表 陽気会、海行原ふるさと愛好会、
野菊の会、青空、茅花の会



△事例発表
(海行原ふるさと愛好会)

在宅生活支援部門

【介護保険事業（介護予防事業）】

（１）訪問介護事業（ヘルパーステーション）

介護が必要な利用者宅を訪問し、身体介護や家事援助サービスを提供しています。利用者のサービス手順書を作成し、統一したサービスを提供出来るようにしました。また、各種研修会への参加や勉強会を行い、職員の資質向上に取り組みました。

訪問介護事業利用延件数

22 年度	996
23 年度	961
24 年度	899



＜救命救急法講習の様子

（２）訪問入浴事業（ヘルパーステーション）

利用者が安全で安心して入浴できるように、介護計画を作成しチームワークを組み、快適な入浴が出来るように心がけました。事業所へのPRや健康福祉まつり等の催しに浴槽を展示するなどして、本サービスの目的や効果をアピールしました。

訪問入浴事業利用延件数

22 年度	109
23 年度	121
24 年度	109



＜訪問入浴車で訪問

（３）居宅介護支援事業（ヘルパーステーション）

市民からの介護相談、介護保険手続きの代行、サービス事業所との調整、利用者の介護サービス計画の作成等を行っています。

- ・近隣住民の方々から支援が得られにくい方、生活保護者、重度認知症の方など、支援が困難なケースにも積極的に取り組みました。
- ・広報誌さわやかを年２回発行し、本会でも介護相談等を実施していることを周知しました。

居宅介護支援事業利用延件数

	居宅介護支援	介護予防支援	合 計	新規契約	契約終了
22 年度	972	51	1,023	—	—
23 年度	774	121	895	—	—
24 年度	758	166	924	34	30

（４）デイサービス事業（交流拠点あおば）

それぞれの利用者にあったレクリエーションの提供、外出機会の増加、行事内容の見直しに取り組み、デイでの生活が単調にならないようサービスの提供に努めました。

- ・利用者の入院や入所や転居による著しい減少と、利用者増への取り組み不足により利用者の著しい減少となりました。

デイサービス事業利用延件数

22 年度	269
23 年度	252
24 年度	199



△そうめん流しの様子

【介護保険対象外事業】

(5) 一次予防事業「地域介護予防支援事業」(ヘルパーステーション)

65歳以上の高齢者を対象に公民館に健康運動指導士と看護師を派遣し、血圧測定や健康体操を実施しました。「笑顔で楽しく貯筋する」をモットーに、いつまでも住み慣れた地域で暮らすために、自宅でも簡単に継続出来る運動を実施しました。

実施状況

	24年度
実施地区	8地区
実施回数	248回
延参加者数	3,493人
延派遣者数	511人

※平成24年6月より開始



△運動実施の様子(万田東地区)

(6) 二次予防事業「通所型介護予防事業」(交流拠点あおば)

要支援・要介護認定の非該当者で、運動器機能が低下した方を対象に、ストレッチや筋力向上運動を行い、市民の健康増進に努めました。

介護予防(運動器の機能向上)利用状況

	23年度	24年度
開所日数	95	83
延利用者数	762	192



△あおば元気体操クラブの様子

(7) 介護保険対象外ホームヘルプ事業(ヘルパーステーション)

介護保険非該当者及び介護保険認定者でも、入院等により介護保険を利用できない方を対象に介護保険に準じたサービスの提供を行っています。

介護保険対象外ホームヘルプ事業利用延件数

	22 年度	23 年度	24 年度
上乗せサービス	36	33	15
横だしサービス	81	79	89

【障がい福祉サービス事業】

（８）居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業（ヘルパーステーション）

利用者宅を訪問し身体介護や家事援助の支援等を行います。

視覚障がいにより移動に著しく困難を有する人に、移動に必要な情報の提供、移動の援助等の外出支援を行います。

また、各種研修会へ参加し職員の資質向上に取り組みました。

居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業利用延件数

	22 年度	23 年度	24 年度
居宅介護	288	276	252
重度訪問介護	24	12	12
同行援護	－	22	44

（９）地域生活支援事業（ヘルパーステーション）

地域生活支援事業利用延件数

	22 年度	23 年度	24 年度
移動支援事業	52	21	13
障がい者訪問入浴	12	12	12

（１０）児童発達支援、放課後等デイサービス（ふれあい福祉センター）

法改正に伴い、児童発達支援と放課後等デイサービスを一体的に行う多機能型事業所として運営いたしました。

- ・保護者支援の充実を目標に相談支援に力を入れました。就学に関する決定が差し迫っているケース、家庭生活や園、学校生活の難しさが顕著なケースについて、保護者や他機関と連携を密にし、課題の解決に向けて取り組みました。
- ・通常業務においては、平成24年4月30日現在で登録者35名、一日の平均利用者数8.3人であったものが、年度末には登録者45名、一日平均利用者数が10人となり、利用者数を大幅に伸ばすことができました。

児童発達支援利用状況

	24 年度
男 性	400
女 性	119
合 計	519
平 均	3.11
実施日数	167

放課後等デイサービス利用状況

	24 年度
男 性	1,131
女 性	451
合 計	1,582
平 均	6.54
実施日数	242

地域別利用者数

	24 年度
市 内	388
市 外	131
合 計	519

地域別利用者数

	24 年度
市 内	1,426
市 外	156
合 計	1,582

(11) 日中一時支援事業（ふれあい福祉センター）

日中一時支援事業利用状況

	23年度	24年度
男 性	118	119
女 性	46	12
合 計	164	131
平 均	3.21	2.79
実施日数	51	47

地域別利用者数

	23年度	24年度
市 内	160	116
市 外	4	15
合 計	164	131

(12) 生活介護事業（ふれあい福祉センター）

常時介護を要する利用者に対し、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行っています。

- ・ 荒尾支援学校からの実習生を受け入れました。
- ・ 毎月、支援会議を実施し、利用者の支援の在り方について職員で意志統一を図りました。
- ・ 職員がサービス管理責任者研修等の研修に参加し、スキルアップを図りました。

生活介護事業利用状況

	23年度	24年度
男 性	1,957	1,931
女 性	1,665	1,534
合 計	3,622	3,465
平 均	14.78	14.03
実施日数	245	247

地域別利用者数

	23年度	24年度
市 内	2,813	2,695
市 外	809	770
合 計	3,622	3,465

(13) 地域活動支援センター事業（ふれあい福祉センター）

障がいをお持ちの方へ入浴、食事、創作的活動、機能訓練、社会適応訓練及びレクリエーション等の機会を提供しています。また必要に応じ利用者の方々への介助も行っています。

- ・ 事業の周知を図るため、市民病院へのパンフレットを設置しました。
- ・ 毎月、支援会議を実施し、利用者の支援の在り方について職員で意志統一を図りました。

地域活動支援センター利用状況

	23年度	24年度
男 性	1,086	955
女 性	1,271	1,047
合 計	2,357	2,002
平 均	9.78	8.27
実施日数	241	242

講座別延利用者数

社会適応訓練	パソコン	258
	料 理	44
創作的活動	手 芸	76
	生 花	171
	書 道	69
	紙すき	0
	カラオケ	144
	合 計	762

▷ 書道講座の様子



地域別利用者数

	23年度	24年度
市 内	2,295	1,899
市 外	62	103
合 計	2,357	2,002

【子育て支援】

（１４）学童保育事業（交流拠点あおば）

児童が帰宅しても面倒をみる事が出来る保護者や家族がいない小学生（主に低学年）をお預かりし、子ども達の健全育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援しています。

- ・マニュアルの見直しを行うとともに、業務の偏りを無くす為に、現場と書類作成など全ての業務分担を徹底したことにより指導員のスキルアップにも繋がりました。
- ・外出行事に公共の交通機関を使用し、公共でのマナーを学ぶ機会を増やしました（映画鑑賞や外食（バイキング）に出掛けています）。

学童クラブあおば利用状況

	開設日数 (日)	通常登録 児童数(名)	長期休暇のみ 登録児童数(名)	内、中途退会 児童数(名)
22年度	292	24	14	2
23年度	293	37	13	5
24年度	290	34	11	3



△夏にボディペインティングを行った時の模様



△遠足にて海に行った時の模様

【総合生活支援】

（１５）生活福祉資金

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度を実施しています。

- ・長期返済のない滞納者への定期的な電話連絡、訪問による生活状況の把握と償還指導に取り組みました。
- ・直近の借入者にも随時連絡をとり、長期滞納者にならないよう取り組みました。

貸付相談・償還指導等件数

	23年度(件)	24年度(件)	比較(%)
貸付相談対応 (同一者対応含む)	422	492	117
償還指導 (同一者対応含む)	115	299	260
申請決定数	10	11	110

（１６）生活資金

市民の緊急かつ、やむを得ない状況にある方への生活費の貸付を行っています。

- ・ 電話相談時の適切な対応、関係機関への確実な連絡、また、聞き取り調査等関係機関とのスムーズな連携に努めました。
- ・ 民生委員との情報共有により過去の未償還者の発見と償還につなげました。

相談・貸付件数

	２３年度（件）	２４年度（件）	比較（％）
相談件数	236	261	111
貸付件数	43	29	67

（１７）訪問理美容サービス事業

要介護、身体の障がいにより理美容院に出向くことが困難な高齢者及び障がい者が、居宅及び施設で手軽にサービスの提供を受ける事が出来るように理美容者の派遣を行うサービスです。

訪問理美容サービス事業実績

	２３年度（件）	２４年度（件）	比較（％）
事業所	158	184	116
利用者	793	862	109

（１８）地域福祉権利擁護事業

認知症や知的・精神障害などにより地域での在宅生活を送る上で金銭管理や適切な福祉サービスを受けることが困難となっている方を支えるサービスです。

- ・ 体調の変化や入院入所により、家族や関係機関との情報交換・連携、また利用者のニーズへの対応に力を入れました。
- ・ 入院入所、また死亡により減少した契約数に対応すべく、生活保護係や病院、施設、ケアマネジャーへの権利擁護事業の周知活動に取り組みました。

地域福祉権利擁護事業実績

	２３年度（件）	２４年度（件）	比較（％）
訪問件数	493	468	95
電話対応件数	561	984	175
新規契約件数	6	2	33
解約件数	5	5	100

(19) 心配ごと相談事業

◆相談利用者数 13名 (男 7名、女 6名)

相談処理状況

	22年度	23年度	24年度
解決	1	2	9
再来	0	1	0
民生委員	0	0	0
他機関	1	6	4
その他	10	13	0
合計	12	22	13

(20) 福祉給食事業

身体状況により、買物や調理等の食事の調達が困難な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に昼食・夕食を配達し、健康状態を維持すると同時に安否確認を行っています。

- ・利用者に福祉給食に関する聞き取り調査を実施するとともに、利用者が満足していただけるよう改善に努め、単調になりがちな生活に彩りを与えられる給食サービスの提供に取り組みました。
- ・認知症の方などには、弁当箱に配達日を記載した紙を貼付したり、弁当箱の回収時には声掛けを徹底することにより、食中毒の防止に努めました。

利用人員

	23年度	24年度
昼食	1,580	1,515
夕食	2,673	2,672
合計	4,253	4,187
配食日数	257	256
実人員	267	255

年間配食数

	23年度	24年度
昼食	23,521	21,846
夕食	43,393	42,422
合計	66,914	64,268



△福祉給食を準備している模様です

法人運営部門

【広報、他団体事務、管理運営】

(1) 広報活動

従来からの広報紙発行だけでなく、開設しましたホームページ等の運用を8月から行い、インターネットを活用して本会の活動を広く周知いたしました。

広報誌発行状況

発行回数(回)	配布方法
年6回	全戸配布

ホームページ等運用状況

ホームページ クリック数	450 回
Facebook リーチ数	11,957 回



△ホームページからさまざまな情報を発信！

(2) 共同募金、日赤団体事務

共同募金で集められた募金はボランティア活動や各福祉団体の活動資金に役立てています。また、日赤は、火災水害の被災者に救援物資を配布し、被災地においては迅速に被災者・傷病者の医療救護活動を実施するための活動資金として役立てられています。

- ・共同募金は「くまモンバッジ・ファイル」の資材募金により募金額を増やすことができました。
- ・日赤は法人社資を伸ばすことができましたが、全体的には減額となりました。

募金実績額

	共同募金	日赤社資
23年度	8,555,819 円	7,430,023 円
24年度	8,923,165 円	7,149,127 円



△くまモンファイルを作りました

(3) 災害見舞金事業

◆災害見舞金支払状況 2件

(4) 法外援護事業

◆行路困難者旅券配布 14件

(5) 実習生受入れ

実習別受入状況

種 別	区 分	件 数	人 数	延日数
社会福祉援助技術現場実習	実 習	3	4	88
訪問介護員養成研修	実 習	1	9	9

(6) 総合福祉センター管理運営

利用状況

	23年度		24年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員
老人団体関係	0	0	0	0
身体障がい者関係	0	0	0	0
市役所	20	415	25	550
民生委員	33	460	31	573
遺族会	0	0	0	0
保護司会	1	30	0	0
社協	67	897	87	1,022
児童関係	0	0	0	0
その他	10	299	7	230
計	131	2,101	150	2,375

(7) ふれあい福祉センター管理運営

利用状況

	23年度		24年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員
障がい者関係	154	832	160	790
ボランティア	261	1,939	229	1,543
民生委員	12	235	12	205
保健所	0	0	0	0
学校関係	0	0	0	0
公務	66	602	69	530
社協	23	136	25	158
地域住民	0	0	0	0
その他	112	1,522	98	1,221
計	628	5,266	593	4,447

(8) 潮湯管理運営

利用状況

	23年度			24年度		
	利用人員	敬老月間	計	利用人員	敬老月間	計
市内利用者	9,252	0	9,252	29,150	550	29,700
市外利用者	1,143	0	1,143	1,333	28	1,361
健康体操	366	0	366	—	—	—
計	10,761	0	10,761	30,483	578	31,061

※23年度は老人福祉センターとして、4～6月までの3ヶ月間の利用状況。7月から休館。

※24年度から「潮湯」と名称変更し、4月9日から再開（潮湯での健康体操は廃止）。